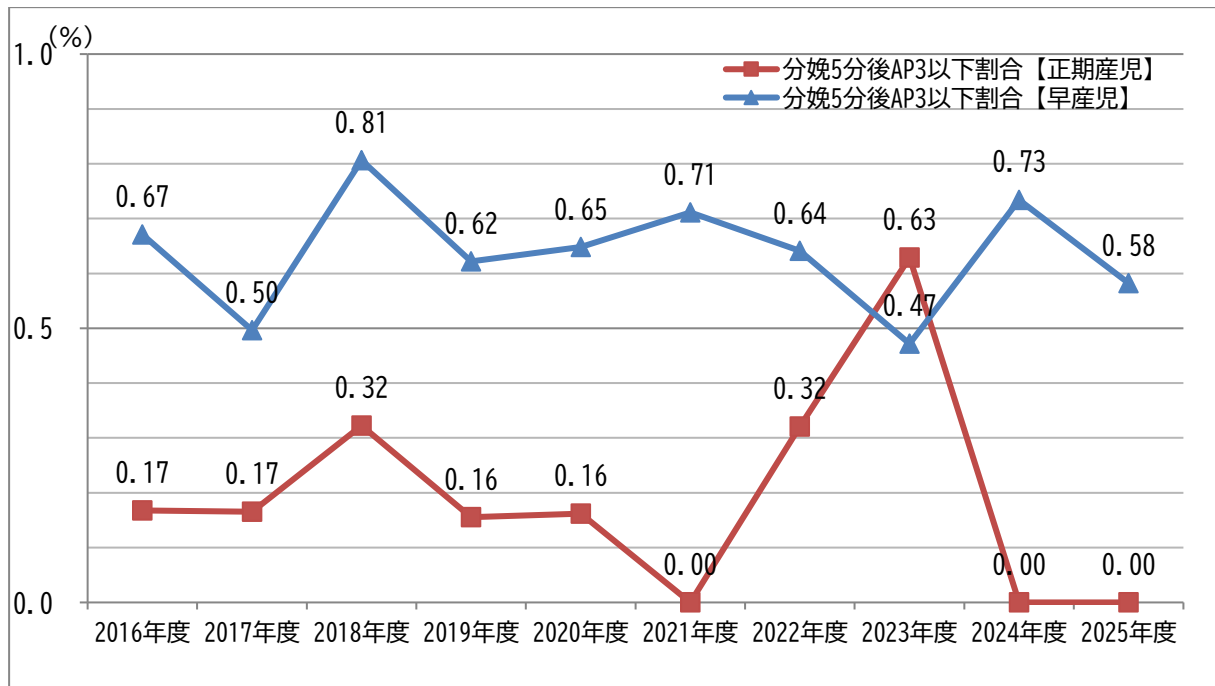


分娩5分後のアプガースコアが3点以下の割合



アプガースコアは、出生直後の新生児の健康状態を表す指数で、新生児の短期的な予後を予測する指標である。臍帯動脈血 pH 値や臨床的所見などを組み合わせ総合的に判断する必要がある。当院におけるアプガースコア3点以下の新生児の発生率は、2014年の総合周産期母子医療センター登録以降、正期産児では0～0.63%、早産児では0.5～0.73%と、概ね横ばいである。当院の分娩数は漸増傾向で、それに伴ってハイリスク妊娠・分娩数も増加し、早産の割合も2017年度以降22.0%～23.5%を推移している。こうした状況下でもアプガースコア3点以下の新生児の発生率に変化がないことは、当院の周産期医療体制が維持されていることのほか、すべての分娩に新生児蘇生法を修得したスタッフが担当できるよう配置されていることが挙げられる。常に周産期医療の体制強化を図り、新生児仮死への早期医療介入への質向上に努めていく。

データ提供 看護部 B-3 病棟（産科）